

難病患者の就労支援の あり方についての一考察

～難病患者へのアンケート調査結果を踏まえて～

○長岡彩夏¹⁾、武田靖子²⁾、齊藤皆子³⁾、
救仁郷修⁴⁾

1)高千穂保健所 2)3)4)日南保健所

平成30年5月15日(火)
宮崎県地域健康推進研究会

I はじめに

平成27年1月より「難病の患者に対する医療等に関する法律(以下、難病法)」が施行され、従来の治療研究や医療体制、難病患者の療養生活環境の整備だけではなく、**福祉サービスや就労支援との連携と総合的な施策**を規定された。

今回「**難病患者の就労に関するアンケート調査**」を実施し、難病対策地域協議会で関係機関と就労支援のあり方について検討したので報告する。

Ⅱ 対象と方法

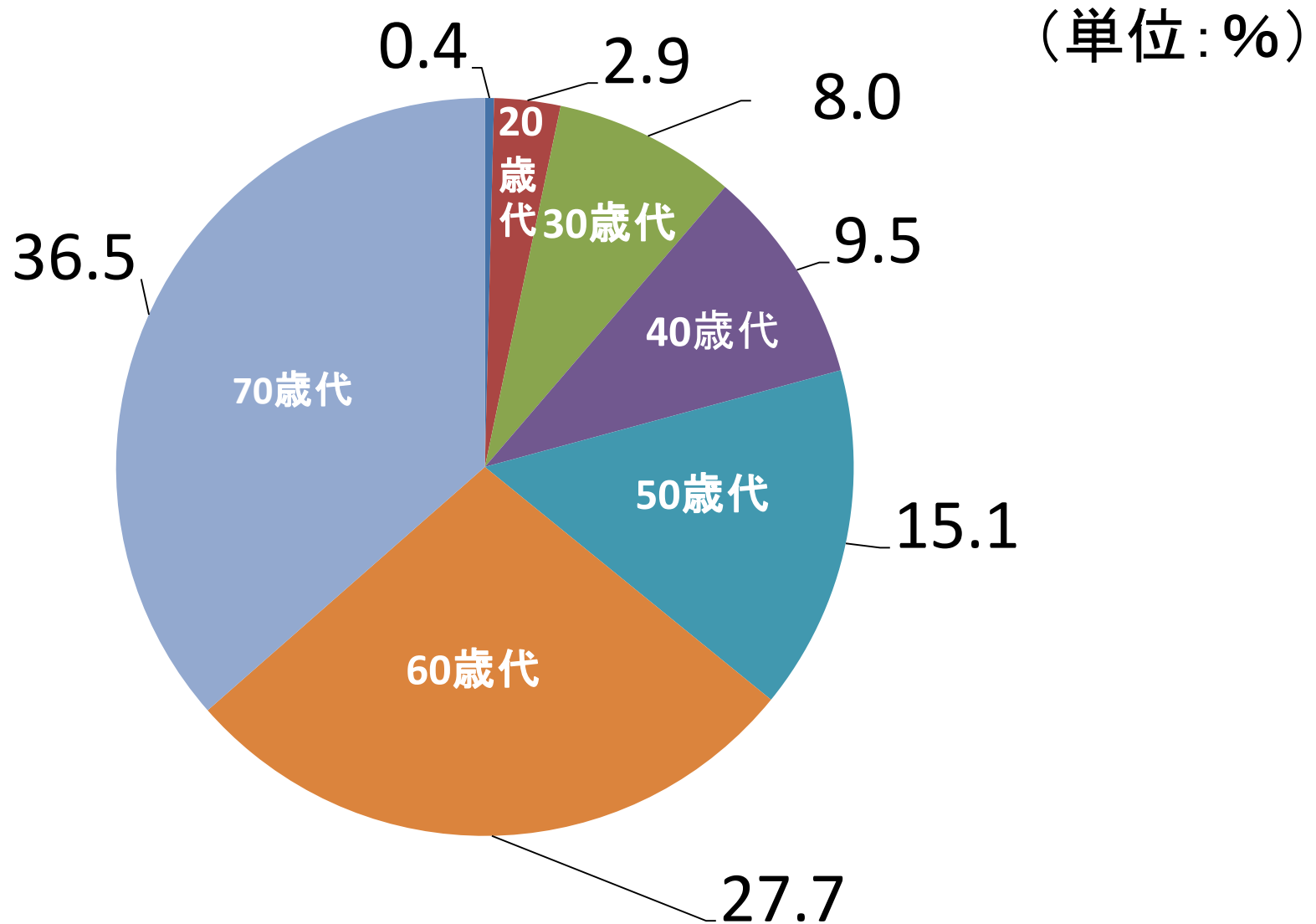
1.調査対象	日南保健所管内の特定医療費(指定難病)受給者 567名 <内訳> H28年度 特定医療費(指定難病)受給者の更新申請者 556名 H28年6月の特定医療費(指定難病)受給者の新規申請者 11名
2.調査期間	平成28年6月1日～平成28年9月30日
3.調査内容	難病患者の就労状況について
4.調査方法	更新申請受付時の アンケート調査
5.回答状況	回答数 524名 、回収率 92.4%

Ⅲ 結果

就労に関するアンケート調査 の集計報告

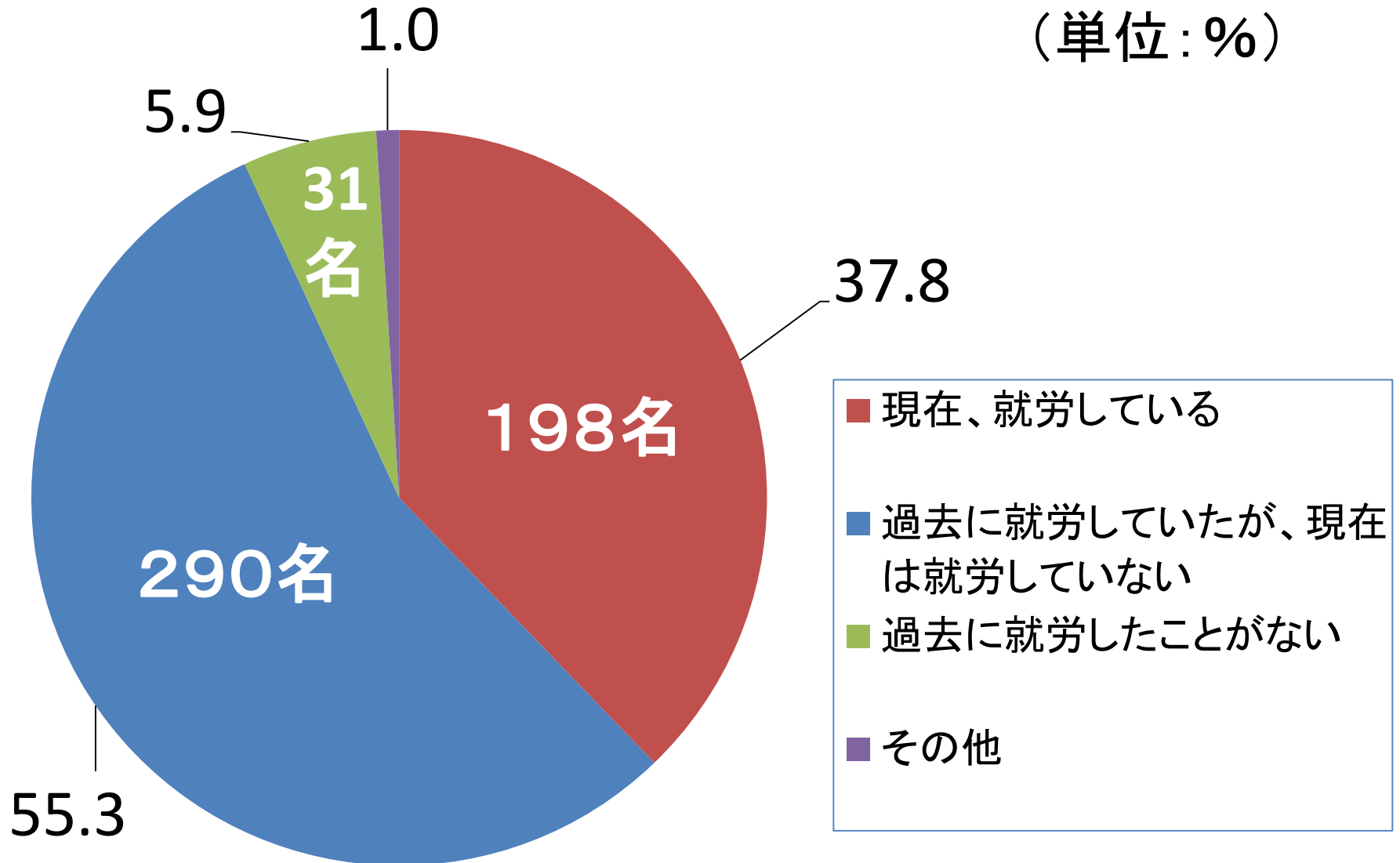
1. 回答者のプロフィール

回答した受給者の年齢階級 (N=524)



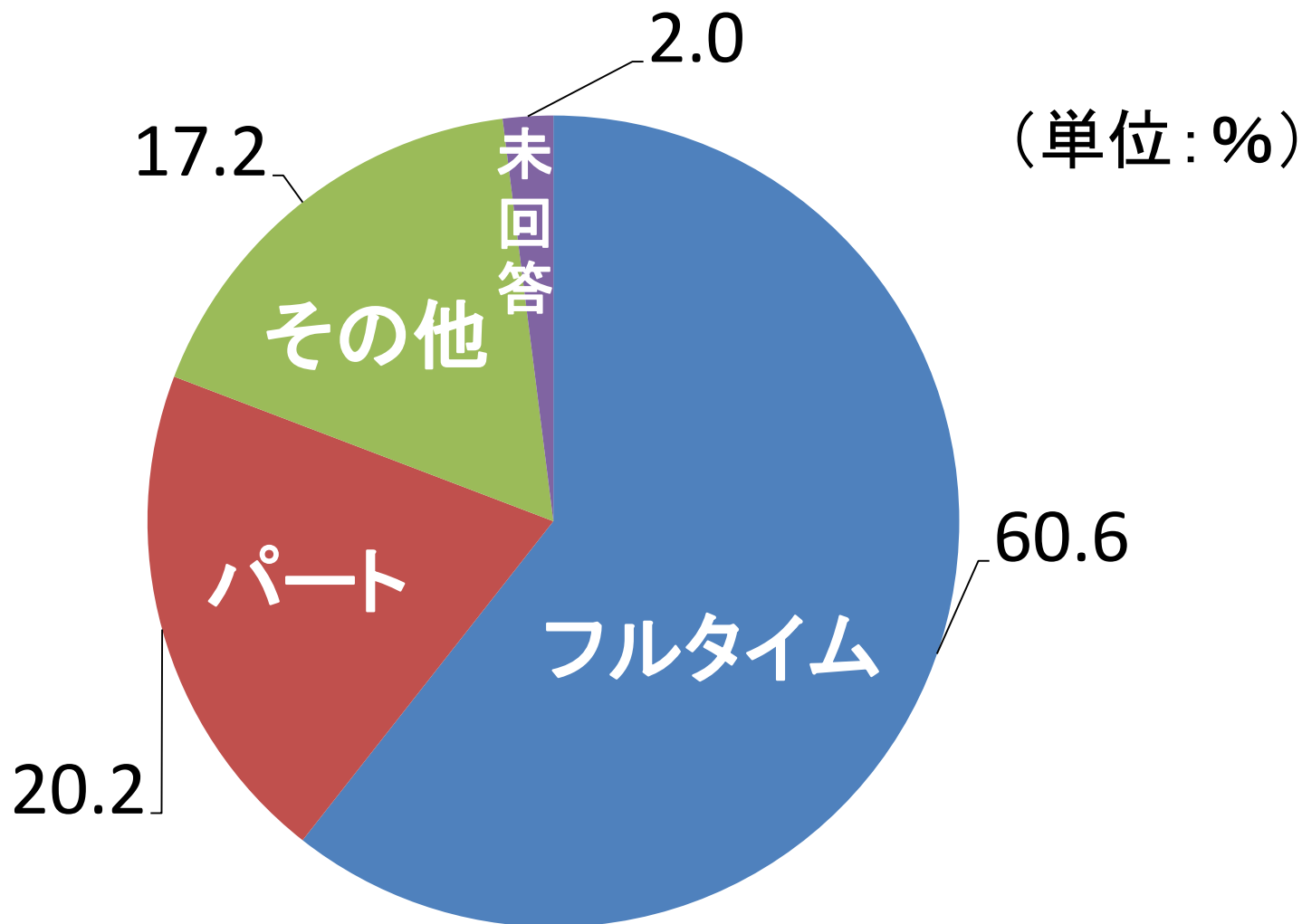
2. 回答者の就労状況

現在と過去の就労状況 (N=524)



現在、就労している者

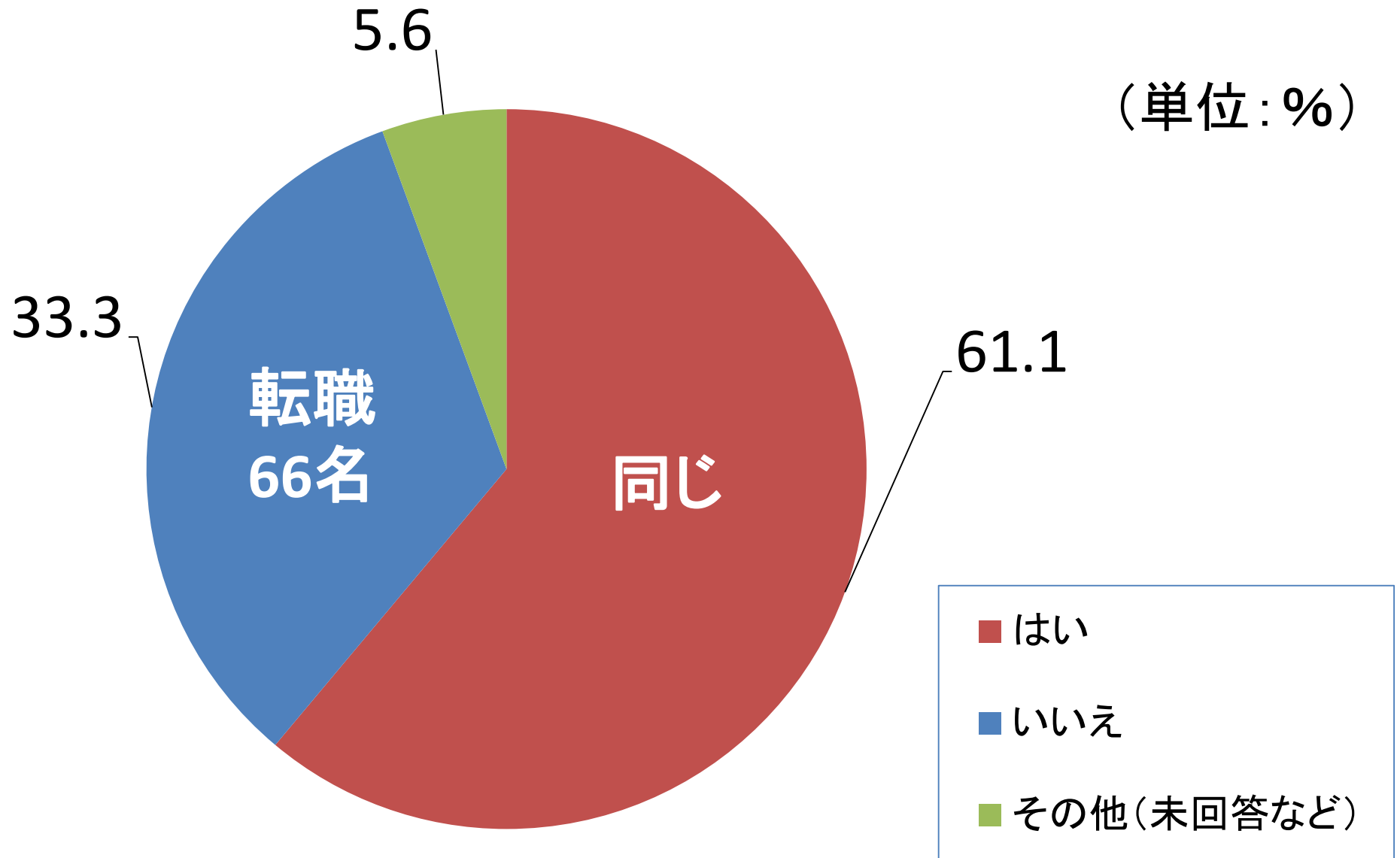
勤務形態は何ですか？ (N=198)



現在の仕事は、難病になる以前と同じですか？

(N=198)

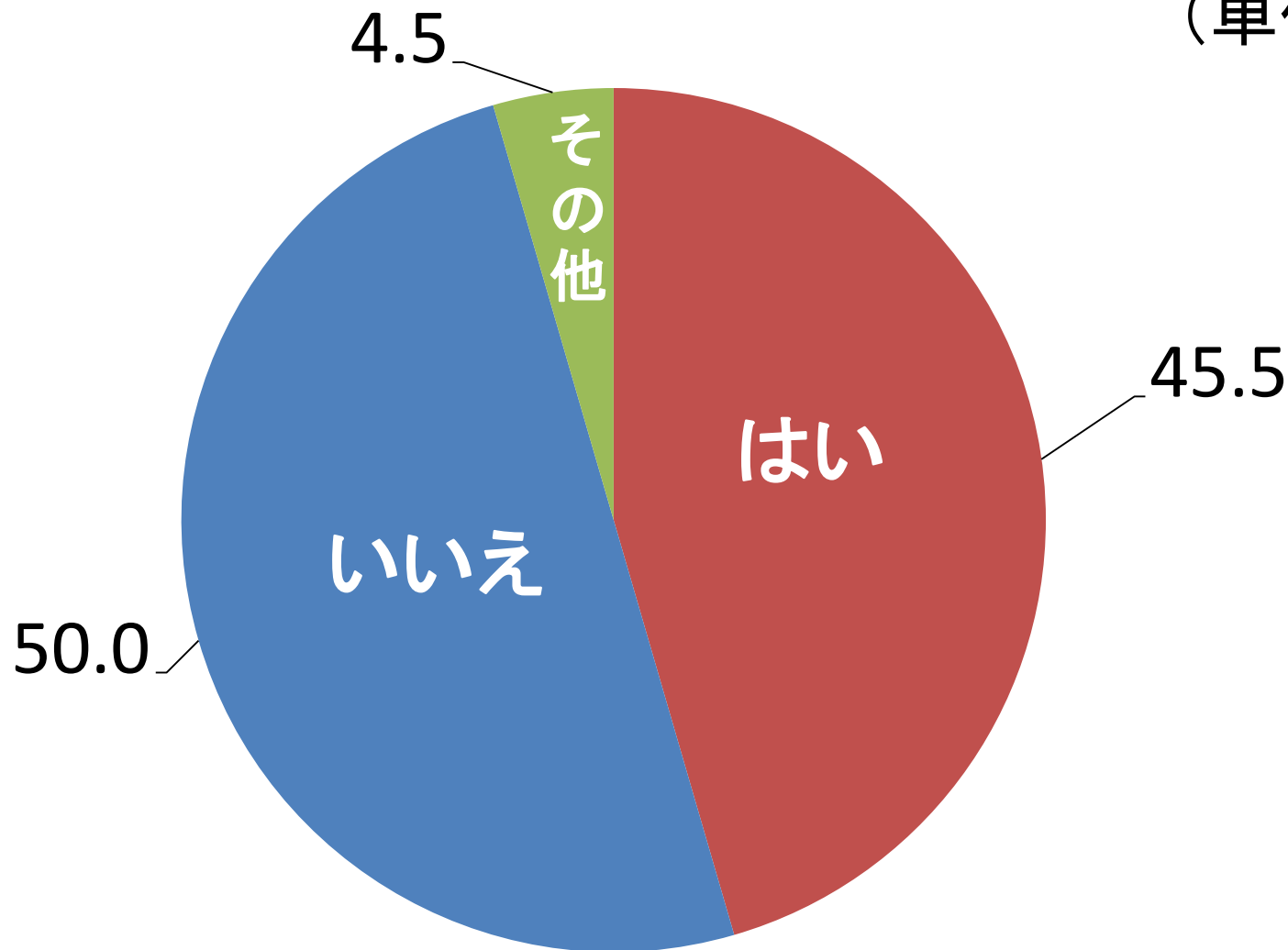
(単位：%)



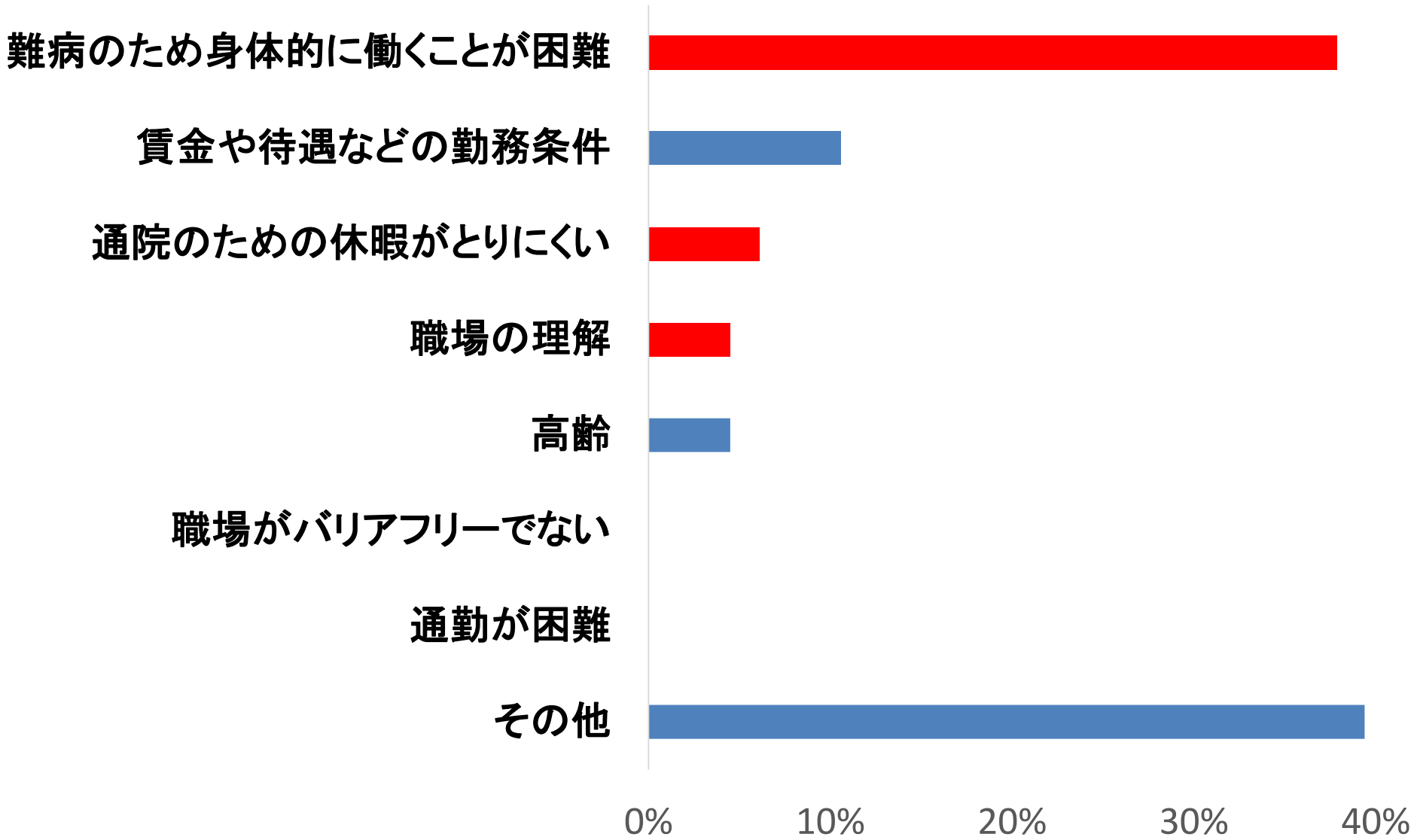
転職した者

転職の原因は難病が理由ですか？ (N=66)

(単位: %)



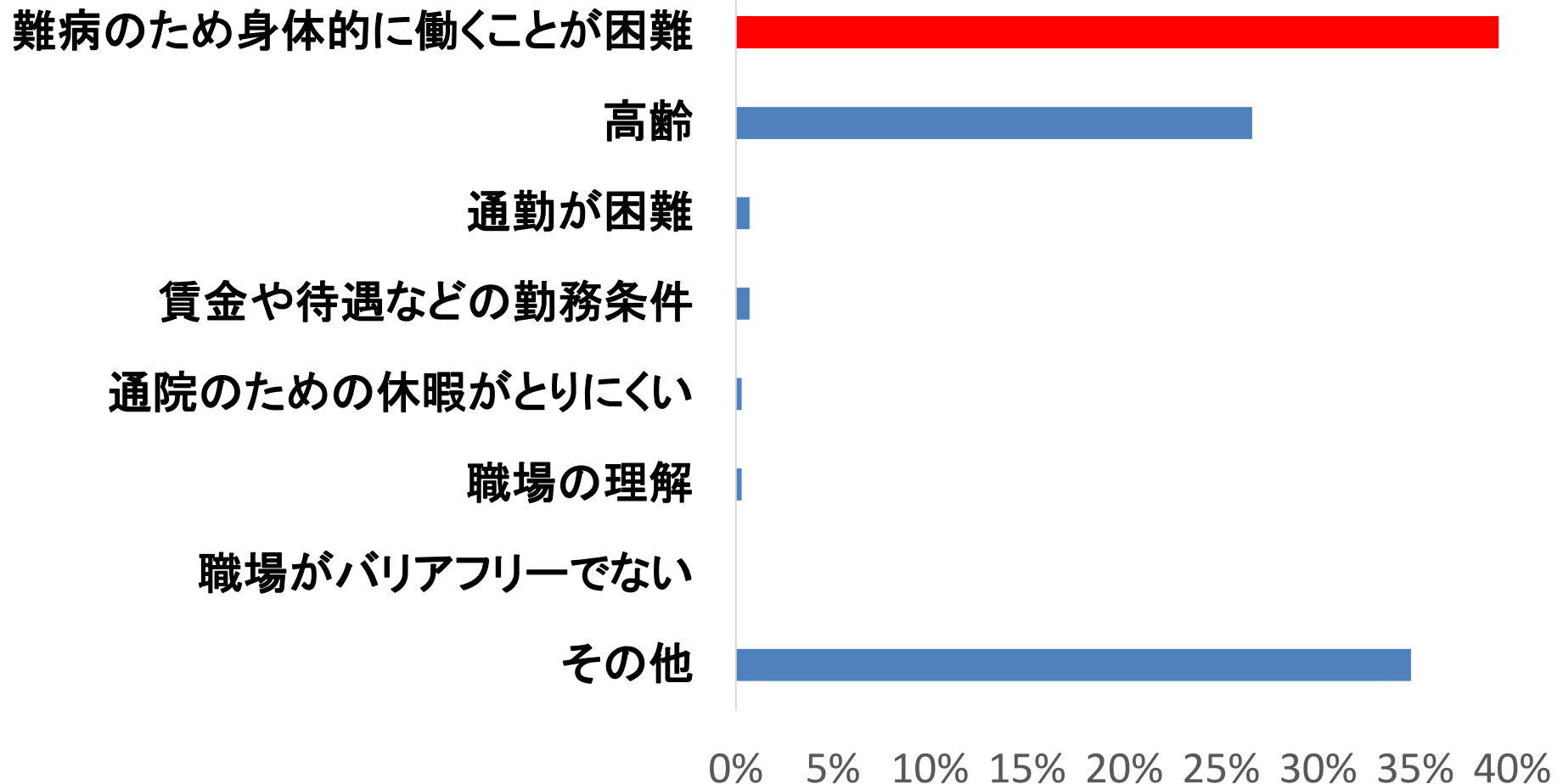
転職の原因は何ですか？（複数回答）（N=66）



過去に就労していたが、現在は就労をしていない者

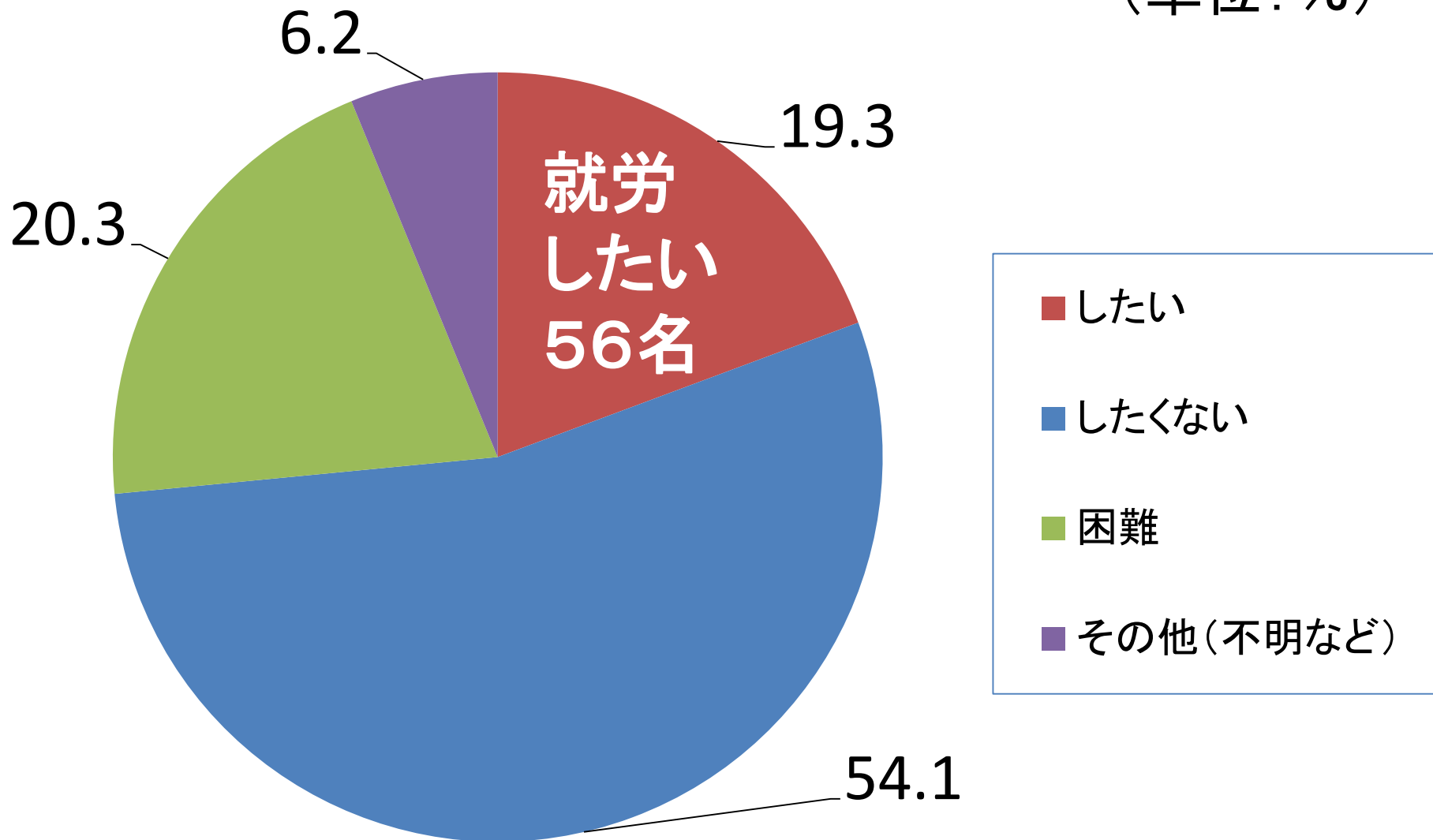
仕事をやめた原因は何ですか？（複数回答）

(N=290)



今後、就労したいと思いますか？ (N=290)

(単位：%)



○性別

◆今後、就労したいと思っている

56名

性別	人数	%
男性	26	46.4
女性	30	53.6

○年齢階級

年齢	人数	%
20代	2	3.6
30代	5	8.9
40代	5	8.9
50代	12	21.4
60代	20	35.7
70代	12	21.4

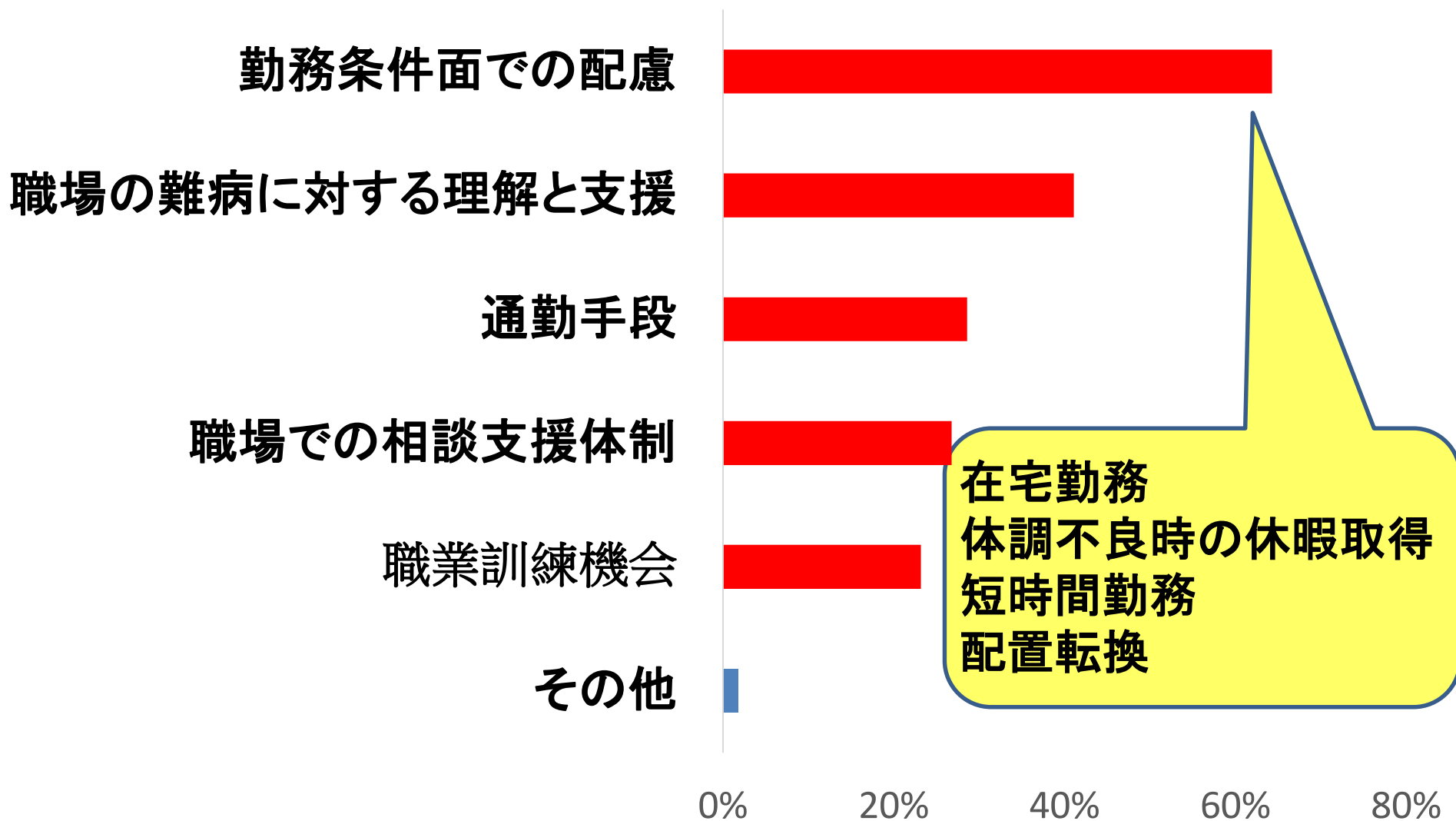
◆就労したくないと思っている

157名

性別	人数	%
男性	54	34.4
女性	103	65.6

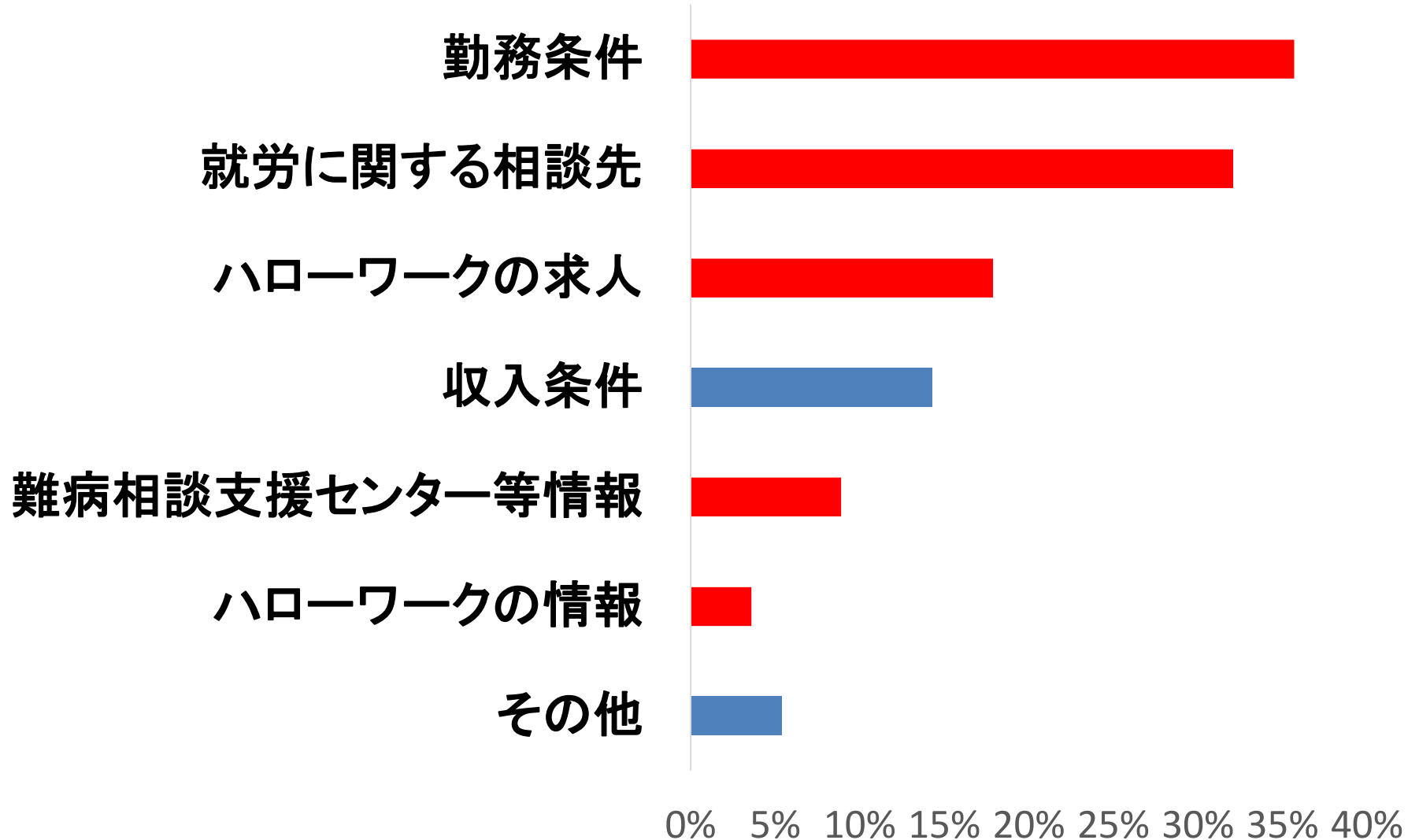
年齢	人数	%
20代	0	0
30代	0	0
40代	1	0.6
50代	5	3.2
60代	52	33.1
70代	99	63.1

難病患者が就労するためにどのような環境整備が必要だと思いますか？（複数回答）（N=56）



就職活動する上での問題点は何ですか？

(複数回答)(N=56)



IV 考察

◆ 転職歴

「就労者」でも、約6人に1人に難病による転職歴があり、就労継続への影響あり。

◆ 就労支援の対象者

今後、就労したいと思っている**56名**

(調査対象者全体の**10.7%**)



特に50代以下の働き盛り24名(42.8%)

に対して、就労支援を行う必要あり。

IV 考察

就労希望者が就労するためには、

「勤務条件面での配慮」

「職場の難病に対する理解と支援」が必要。



1) 難病患者の勤務条件の合う求人を確保

… 難病患者の就労支援に取り組む事業所登録
と専門的助言

2) 難病患者就職サポーターや

就労に関する相談窓口等の周知

… リーフレット作成、患者や関係機関への周知

V おわりに

アンケート調査を基に、難病対策地域協議会において、**難病患者の就労の現状と課題を把握し、各関係機関と情報共有**することができた。

今後、難病対策地域協議会を活用して、**関係機関との連携強化を図り**難病患者の就労支援に努めていきたい。

ご清聴ありがとうございました。

